

第5学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年10月10日(金) 5校時
学 級 5年1組(男11名 女23名 計34名)
指導者 教諭 工藤 祐子

1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう

教材名 ①ニュース番組作りの現場から(清水 建宇)
②工夫して発信しよう(光村図書)

2 単元の目標

- ◎文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られるかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深めることができる。
- ◎伝えたいことをどのように伝えるかをグループで協力して考え、形にして発信することができる。
- ニュース番組の作られ方に興味をもち、自分たちが伝えたいことを協力して発信しようとする。
(関・意・態)
- 自分たちが番組を作るために必要な事柄を時間の順序にしたがって段階ごとに読み取ることができる。
(読オ)
- 番組作りの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願いなどを読み取ることができる。
(読イ)
- 伝えたいことを考えて材料を集め、目的に合わせて整理・加工し、発信することができる。
(書ア・イ・エ)

3 単元の評価基準

- ◎文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られるかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深めている。
- ◎伝えたいことをどのように伝えるかをグループで協力して考え、形にして発信している。
- ニュース番組の作られ方に興味をもち、自分たちが伝えたいことを協力して発信しようとしている。
(関・意・態)
- 自分たちが番組を作るために必要な事柄を時間の順序にしたがって段階ごとに読み取っている。
(読オ)
- 番組作りの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願いなどを読み取っている。(読イ)
- 伝えたいことを考えて材料を集め、目的に合わせて整理・加工し、発信している。
(書ア・イ・エ)

4 単元について

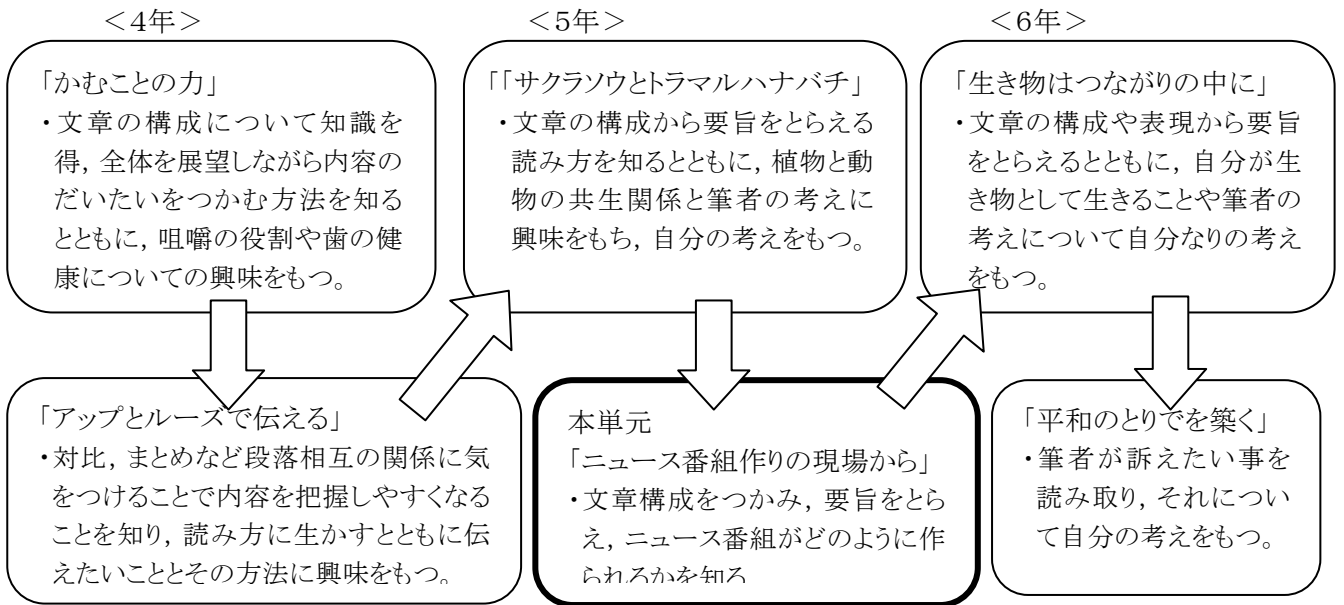
(1)教材について

本単元に関わる小学校学習指導要領の目標は、「読むこと」の「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身につけさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる」と、「書くこと」の「目的や意図に応じ、考えたことなどを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに効果的に表現しようとする態度を育てる」である。また、主な内容としては、「C 読むこと(1)オ 必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること。」「B書くこと(1)ア 目的や意図に応じて、書く必要のある事柄を整理すること。イ 全体を通して、書く必要のある事柄を整理すること。エ 事象と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたりくわしく書いたりすること。」である。

本教材は、ニュース特集の作り方についてまとめた文章である。報道スタッフの役割や活動が時系列に沿って整理されており、ふだん何気なく見ているニュース番組がどのようにして作られているのかよく分かる。加えて、番組作りにかかわる人々が留意している事柄や多くの苦勞、願いなども合わせて読み取ることができる教材となっている。

ここで学習した内容を手引きとして、続く「工夫して発信しよう」では児童自らが「話題選び」「取材」「インタビュー・撮影」「編集」「原稿書き」等を行っていく。それらの活動を通して自分たちが伝えたいことを周囲の人々に発信していく、という複合単元である。

(2)これまでの学習との関連



(3)児童について

全体的に落ち着いて話を聞いたり作業を進めたりすることができる学級である。平均的な学力は高く、漢字の読み書きや問いに対する答えを見つける問題では力を発揮している。しかし、積極的に挙手して発表しようとする児童は限られており、自分の考えを自分の言葉で発表することが苦手な子や発表の声が小さい子に対して、意思表示のさせ方や声の大きさについて指導を続けている。

自分の伝えたいことを発信する活動として、1学期には「言葉の研究レポート」や合宿学習の個人新聞作りを行ってきた。少しずつ読み手を意識した書き方ができるようになってきている。だが、内容的には、完成させるのが最大の目標で自分の行動や感想を中心とした浅い内容にとどまっているものも少なくない。日常的な取り組みとして、朝の会で日直が「今日のニュース」を一つ紹介することにしている。世の中のできごとに目を向ける機会にしたいとのねらいがあり、聞きながらうなずいたり「ああ、知っている」とつぶやいたりする児童がいる反面、日直でも「ニュースを見てこなかった」と言う子もいて、ニュースに対する関心の度合いはかなりばらつきがあると感じている。

(4)指導にあたって

特集番組を作るための報道スタッフの活動と時間経過を一人学びで表に書き込ませていく。その後、番組を制作する上で大事なことや気をつけることを全体で確認しながら補足説明を加えて理解を深めていく。

「初め」「中」「終わり」という大まかな文章構成は比較的容易に理解できると思われるが、「中」の段落をまとまりに分けるのは困難が予想される。構成図を書かせて時系列に沿った書き方をしていることを理解させていく。また、文章表現の工夫についても話し合い、報道スタッフの努力や願い、それを伝えようとする筆者の思いに気付かせていきたい。

発信する学習では、自分が伝えたいことは何か、それをどう伝えるか等を考えさせ、受け手を意識させながら活動を進めていく。発信の方法としてはビデオ放送、または新聞作りを考えている。総合的な学習の時間と関連させながら時間の確保を図るとともに、一連の活動を通して感想を交流しながら、メディアリテラシーについても触れていきたい。

【研究仮説1「読むこと」の学習指導過程に確かに読むための「書く活動」を取り入れる】

- ア キーワード、キーセンテンスや重要語句、文末表現等にサイドラインを引き書き込みを行うこと。
- イ 文章構成図を書くこと。
- ウ 報道スタッフや筆者の思いに対する自分の考えを書くこと。

【研究仮説2「読むこと」に関わる学習技能を身につける活動を工夫する】

- ア 時間経過を表す言葉や特集制作のための過程に着目しながら、文章構成をつかむ。
- イ 過去形と現在形の文末表現に着目しながら、報道スタッフの行動と筆者の意見を区別する。
- ウ 指定された字数以内で要旨をまとめる。

5 単元の指導と評価の計画(14時間)

段階	時間	主な学習活動	具体的評価規準 (おおむね満足)	努力を要する児童への 支援
つかむ	1	○全文を読んで感想を話し合い、学習の見通しをもつ。 ○新出漢字の練習と難語句の意味調べをする。	○ニュース番組や教材文に対する自分なりの感想をもっている。	○これからの学習への見通しと意欲をもてるように受容的態度で声がけをする
ふかめる	2	○全文を読み、大まかな構成と①段落の役割、内容をつかむ。 ○特集番組ができあがるまでの過程を各自で調べる。	○「初め-中-終わり」という文章構成をつかんでいる。 ○特集を作るために、放送の何日前にどんな仕事をするか表に書いている。	○「～日前」の言葉を手がかりに「中」の部分をつかませる。 ○過去形の文末表現に着目させる。
	3	○②～⑥段落から、番組作りのそれぞれの過程で大事な点や気をつけることを読み取る。	○話題選びから取材の過程での大事なことや気をつけることとその理由を理解している。	○現在形の文末表現に着目させる。
	4	○⑦～⑩段落から、番組作りのそれぞれの過程で大事な点や気をつけることを読み取る。	○撮影から原稿作りまでの過程での大事なことや気をつけることとその理由を理解している。	○現在形の文末表現に着目させる。
	5	○⑪⑫を読み、放送本番とまとめの段落から報道スタッフの願いや努力を読み取る。	○⑫の役割を理解し、報道スタッフの願いや努力を読み取っている	○強調を表す言葉や、最後の段落に着目させる。
まとめる	6 本時	○全体の文章構成や表現の工夫を話し合う。	○根拠をもって文章構成を考え、よいと思う表現とその理由を発表している。	○報道スタッフの活動が過程であることを想起させままとまりを考えさせる。
	7	○要旨を押さえる。 ○自分がデスクだったらどんな特集をしたいかを考えて、発表し合う。	○要旨をまとめている。 ○身の周りから自分が特集にしたいと思う出来事を見つけている。	○重要語とその語順をヒントとして与える。 ○生活の中で、驚いたことや疑問に思ったことを思い出させる。
	8	○「わたくしの特集」というテーマの企画書を書く。	○読み取ったことと、自分の身の周りのことを関連づけ、伝えたいという意図をもって企画書を書いている。	○友達の発表の中から話題を選んでよいこととし、どんなことを知りたいかを考えて書かせる。
ひろげる	9	○情報発信までの手順を確認する。 ○グループごとの企画会議を開き、ニュースを伝える計画を立てる。	○ニュースを伝えるための活動の手順に基づいて計画を立てている。	○「工夫して発信しよう」の手順を参考にさせる。 ○「多くの人の関心を呼ぶ話題」を取り上げ取り上げ、自分たちでできる発信方法を考えさせる。
	10 11 12	○題材についてグループごとに取材する。 ○「編集して伝える」を参考に編集する。	○ニュースを伝えるために必要な情報を収集し、メモに書いている。 ○取材した材料の中から伝えるために必要な情報を選び、配列している。	○グループ内での役割分担に応じて活動させる。 ○伝えたいことは何か、そのために必要な情報はどれか、優先順位をつけながら選び、配列させる。
	13	○情報を発信し、発信側の意図と受信側の感想を交流する会を開く。	○相手意識をもち、場に応じた言葉遣いで、分かりやすくニュースを伝えている。 ○受信した感想をもっている。	○目線や声の大きさ、速さに留意させる。 ○グループ内での役割分担に応じて活動させる。
	14	○学習を振り返り自己評価する。	○情報の発信と受信について、また情報と自分のかかわりについて考え、これまでのことや今後について書いている。	○自分が発信してみて、また他グループのニュースを聞いてみての感想をもたせる。

6 本時の展開 6 /14時間

(1) 本時の目標

- 文章構成や表現の工夫について考えることができる。

(2) 具体の評価規準

	A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する子への手立て
読むこと	制作過程に基づいて的確に段落構成を考え、説明的表現の工夫を見つけて発表している。	根拠をもって文章構成を考え、よいと思う表現とその理由を考え発表している。	報道スタッフの活動が過程であることを想起させ、まとまりを考えさせる。

(3) 本時の指導における仮説との関連

<仮説1に関わって>

- ア 段落構成図を書くこと。
- イ 工夫されている表現にサイドラインを引き、そう思う理由を書き込むこと。

<研究仮説2に関わって>

- ア 学習技能として、特集制作のための過程に着目しながら文章構成をつかむことを指導する。

(4)展開

段階	主な学習活動	指導上の留意点(・) 評価の観点(◎)
つかむ 3分	1 前時の学習を振り返る。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 段落構成と表現の工夫について考えよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を想起し、本時の学習につなげる。
ふかめる 37分	3 学習課題を解決する。 (1) 課題解決の見とおし ① 「中」の構成を、「過程」を手がかりにして考えることを確認する。 <div style="text-align: right;">【仮説2 ア】</div> ② ②～⑩を黙読する。 (2) 課題解決のための読み取り ① 段落構成を考える。 <div style="text-align: right;">【仮説1 ア】</div> ② 段落構成について話し合う。 ③ 工夫されている表現にサイドラインを引き、理由を書き込む。 <div style="text-align: right;">【仮説1 イ】</div> ④ 見つけた表現を発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の初めに「初め・中・終わり」に分けていたことを想起し、①の文から「過程」に着目すればよいことに気づかせる。 ・段落のまとまりや切れ目を意識して読ませる。 ・各自でシートに段落番号を並べ、分け方の根拠となる見出しをつけながら構成図を考えさせる。 ・分け方に迷った場合は、両方書くよう指示する。 ◎ 過程に着目して段落構成図を書くことができたか。 <div style="text-align: right;">(観察)</div> ・構成図をとそれぞれの見出しを紹介し合う。話し合いを通して自分の考えとの共通点、相違点を見つけながら段落番号の並べ替えを行なっていく。 ・取材に関する段落が他段落よりくわしく書かれている理由についても考えさせたい。 ・説明文として分かりやすい書き方、納得させる書き方、読み手に訴える書き方など、自分がよいと思った文や部分を見つけさせる。 ・文章全体を通しての工夫は、ノートに書かせる。 ◎工夫されている表現にサイドラインを引き、その理由を書き込むことができたか(観察・発表)
まとめ 5分	4 学習のまとめをする。 (1) 学習課題に対するまとめ ① 段落構成と表現の工夫を確認する。 ② ⑫を全員で音読する。 (2) 本時の学習のふり返り 5 次時の学習の見とおしをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・⑫は、筆者と報道スタッフの重いが凝縮されている段落であることを確認する。 ・自己評価をする。 ・次の時間は要旨をまとめ、自分達の発信の題材について考えることを知らせる。

(5) 板書計画

ニュース番組作りの現場から

段落構成と表現の工夫について考えよう。

1 段落構成

初め	①話題提示
中	②話題選び
	③会議1
	④⑤⑥ 取材
	⑦会議2
	⑧さつえい インタビュー
	⑨編集
	⑩原稿書き
	⑪放送
	⑫まとめ
	終わり

時間の流れ ↓

2 表現の工夫

- 放送の〇日前…日数、長さ
- 文末
- 現在形(です ます) …今も これからも
- 過去形(でした ました) …前にしたこと
- …
- …

3 筆者の思い

伝えたいこと

知らせるねうちがあること

知ってほしい

考えてほしい

ニュース番組の作られ方